



## 春闘・業務改革・出向先での闘い ・組織展望について活発な議論を展開

### 新幹線地本第28回定期委員会開催



2月28日南部労政会館で新幹線地本第28回定期委員会を開催しました。



議長には佐藤敏委員を選出。杉澤委員長が「①物価上昇が続く中、連合は長期雇用を否定する岸田首相の「労働移動」受け入れ産業報国会の本性を露わにしている。ユニオンの3000円超定額要求を許さず賃上げ満額獲得まで闘おう。②ウクライナ戦争は米露の代理戦争。岸田による安保3文書改定・防衛費増額・原発推進を許さない。③組合員の退職の現実に踏まえ、65歳以降も組合員としてあるいはOBとして平成採の4名の仲間を支えJR東海労の運動と組織を残していくための討論を。」と挨拶。

来賓の本橋本部書記長・尾崎地本OB会長が挨拶。

討論では6名の委員全員が、職場の問題、出向先の問題、組織展望などについての取り組みについて発言。



討論では6名の委員全員が、職場の問題、出向先の問題、組織展望などについての取り組みについて発言。



執行部答弁のあと、伊藤書記長が「①ユニオン執行部の犯罪性をあきらかにする討論をユニオン組合員と進めよう②ウクライナ戦争の犠牲者は労働者・市民である。集会や9条連の取り組みを続けよう。③業務改革の具体的な動向をいち早く察知して反対の闘いを創り出そう。④一年二年先の問題として組織体制や65歳以降のあり方について議論の場をつくっていく。」と総括答弁。議案を一括採択し団結ガンバローを三唱して終了しました。



閉会の挨拶

森下・松山・水野・田川さんはJR東海労に加入してくれた。この四人を守り共に闘うために何をすべきか、考えよう

市民である。集会や9条連の取り組みを続けよう。③業務改革の具体的な動向をいち早く察知して反対の闘いを創り出そう。④一年二年先の問題として組織体制や65歳以降のあり方について議論の場をつくっていく。」と総括答弁。議案を一括採択し団結ガンバローを三唱して終了しました。